

青山の骨董通りの裏手、閑静な住宅街に佇む「青山表参道 桜井矯正歯科クリニック」。院長の桜井由美子氏は歯学部を卒業後、東京医科歯科大学矯正歯科に6年間勤務。その後ニューヨーク大学歯学部にて3年間臨床留学し、かねてからの夢だった自身のクリニックをこの6月に開業した。待合室には絨毯が張られ、ゆったりとしたソファが置かれている。自宅に招いて寛いでもらう、そんな雰囲気的空間にしたかったと桜井院長。治療の前にはゆっくりと話をす

楽しく通える 歯科医院を 目指して

青山表参道 桜井矯正歯科クリニック

絨毯が張られた待合室、広いコンサルテーションルーム、そして矯正経験者ならではの親身な治療方針。6月に開業した「青山表参道 桜井矯正歯科クリニック」では、寛ぎの空間で、安心・安全な治療が受けられる。

Photo Satoru Naitoh Text Mayumi Sakamoto

そのため、コンサルテーションルームも大きくとった。治療室の壁は淡いグリーン、パールホワイトのユニットが美しく映える。「小さなお子さんが怖がらずに通えるような、温かみのある空間にしました。矯正治療は子供の頃から始めるのが理想的だからです」

歯の矯正を軸に、予防歯科を多くの人に浸透させたいとも考えている。「アメリカ人の歯に対する意識の高さを目の当たりにして、日本との違いを痛感しました。歯並びをきれいに

にすることは見た目の問題だけでなく、虫歯になりにくい歯を作ることにも繋がります。歯並びや噛み合わせをきれいにすることで、健康で快適な生活を送れるようになるんです。それを多くの方に知ってほしい」

治療の際には手を置く位置や力加減、水のかけ方まで気を配る。こういった配慮は、矯正経験があるからこそ。さらにニューヨーク大学の研修医時代に得た、最先端の情報や知識もある。それらを生かし、理想的な矯正治療を行っている。



コンサルテーションルームでのコミュニケーションを大切にするという桜井由美子院長。英語での対応も万全だ。



扉を開けると目に飛び込んでくるのが、このリビングルームのような空間。歯科医院らしいイメージはない。



淡いグリーンの壁に清潔感が感じられる治療室。矯正装置も数多く揃え、分かりやすい同一料金で提供している。